



町屋の雛飾り「押し絵雛」
昔、京都からお雛様を持ってくるには大変な費用がかかり、町屋の人々に流行ったのが押し絵雛でした。当時の商家はこれをお雛様と称して飾るようになったそうです。

[展示] ●安藤家 ●たてつ家 ●五井家
※五井家で押し絵教室の作品も展示

秋田・仙北市

角館

雛めぐり

角館

みちのく小京都と

して知られる角館は、町造りした芦名氏の後、佐竹北家によって治められた城下町です。

町の北側を武士が住む内町、南側を町民が住む外町とした藩政時代からの町割りが今なお残り、現存する、武家屋敷や古い建物が歴史の町ならではの雰囲気醸し出しています。

その角館では、江戸・明治・大正・昭和と、代々大切に受け継がれてきた享保雛、古今雛、次郎左衛門雛といった古雛をはじめ、押し絵雛、

土人形など郷土に根ざしたお雛様も数多くあります。この雛人形を桃の節句にちなんで全町の特別公開し、また、この地方に伝わる雛菓子も「用意いたします。」



展示期間 平成22年2月15日(月)↓3月22日(月)
ガイド付 平成22年2月20日(土)↓3月7日(日)

ガイド付は事前予約で承ります。詳細は裏面をご覧ください。



秘蔵中の秘蔵雛も特別公開予定!

五井家の古今雛

五井家は城下町角館の中で最も古く、角館の町造りと同時に今の場所に屋敷を構え、最初に秋田藩の御用聞町人を勤めた家でもあります。現在の建物は明治33年の大火後に建てられ、この地方の代表的な造りをそのまま維持しています。

代々受け継がれてきた秘蔵の古今雛を公開します。

